

本学経済学部の授業オンライン化

田中英明 Hideaki Tanaka
滋賀大学 経済学部 / 教授

2020年4月、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため本学の授業はほぼ全面的にオンライン化されました。本年度は多くの授業が教室での対面で実施されていますが、今なお感染の終息は見通せません。今後の教育改革の参考とするためにも、この一年の試行錯誤について記しておくことが必要でしょう。そこで、本稿では最初に私が学部長職にあった2020年度春学期の経済学部におけるオンライン化の取り組みについて振り返り、そのうえで一例として私自身のオンライン授業の実践について紹介することにしましょう。

1. 短期間での準備を迫られる

2020年1月に国内最初の感染者が確認され、3月の下旬には全国の新規感染者が一日に100人に迫るなか、入学式の中止が決まりました。学部としても、長期間にわたり登校できない学生・入国できない留学生が生じる恐れから、すべての科目でオンラインでの遠隔授業が実施できるよう準備を開始しました。とは言え、ほとんどの教員にはオンラインでの授業経験はありません。Zoom等のWeb会議ツールを使ったライブ配信型、LMS (e-ラーニングの学習管理システム：滋賀大の場合はSulms) を通じて動画教材や課題等を提供するオンデマンド型などオンラインでの授業方法を学び選択するところから始まり、そのためのツールにも習熟しなければなりません。一夜漬けの勉強の日々のスタートでした。

そして大学としての決定に先立って、4月2日の学部教授会は、春学期には対面式の授業を実施せず全面的にオンライン化する方針を決めました。キャンパスでの密集・密接状態を回避するためには教室での授業の実施を断念せざるを得ないという判断です。まだ滋賀県内の感染者は非常に少ない状況でしたが、年度途中での変更による混乱を避けるとともに、オンラインできちんと従来と同水準の教育を提供するた

めにも、少なくとも春学期には教室での授業との併用は行わないこととしたのです。教室では通路にまでイスが持ち込まれ、生協食堂は学生で溢れ、至るところに新入生を囲むサークル勧誘の先輩達の輪が生じる熱気に満ちた彦根キャンパスの光景を今年は出現させる訳にはいかない…、まさに断腸の思いでした。

その後、大学として授業開始を4月20日に約2週間遅らせることになり、また他学部も全面的なオンライン化で足並みが揃うことになりました。わずかながら準備期間が確保できたとはいえ、本学には大規模大学のような、オンライン教育の推進や、そのためのシステム作成・運営を担うセンターも専門家も存在しません。教職員間での情報の共有と学びあいによる他はありません。先の教授会は私達教職員がWeb会議システムを体験することも狙いとして、初めて試行的にZoomを導入して実施しました。またTeamsという情報共有ツールに教授会のチームを立ち上げ、オンライン授業に関連する議論や情報・ノウハウの交換を始めました。Sulms上では教育学部の先生方が立ち上げた「オンライン授業の情報交流」に相乗りさせていただき「Sulmsの使用方法」などの解説や質疑がやりとりされました。

2. 学部の懐の深さ

オンライン授業のやり方やツールの利用法などの説明会を設ける時間的余裕もなかったのですが、有志の先生方によってやさしい解説の動画などが作成され、上記の諸ツールを通じて提供されたことが大きな力になりました。例えば石井(利)先生はパワーポイントを使って動画資料を作成する方法を、実際にパワーポイントで作成した動画で教えてくださり、須永先生はSulmsでの科目コースの立ち上げ方、小テストの作成・成績評価方法などを、Sulmsを実際に操作しながら解説するという動画ならではのマニュアルを提供していただきました。それまでSulmsを利用したこ

ともなかった私が以下で紹介するようなオンライン授業を始めることができたのは、こうした学びあいのおかげです。

こうしてオンライン授業や情報共有のためのツールを利用して、それらのツールの利用法自体を学び、それを今度はオンラインでの講義や演習がスムーズに始められるようにゼミの学生等に指導するという綱渡りの準備期間でしたが、その間にも政府による緊急事態宣言、自治体による休業要請と事態の悪化が続く中、おりしも学生の構内への原則立ち入り禁止が始まった20日に予定通り授業を開始することができました。

振り返ってみると、経済学部で文科省特別経費『白熱教室プロジェクト』などでSulms等を活用したアクティブラーニング型授業等の授業改革の実践に取り組み、ノウハウを培っていた先生方の存在は大きかったように思います。また、Teamsは大学として契約していたOffice365に含まれていますが本学では使用不可な状態でした。これを19年度に弘中先生らが国際教育推進のための部局・課を超えた円滑な情報・課題の共有を目的に全学に働きかけ、利用できる状態にしておいたことで、教授会や教員間だけでなく、ゼミや講義科目等でも授業開始前からスムーズに活用することができました。このように多様な教員を擁する学部の懐の深さこそが、短期間でのオンライン化という困難に立ち向かうための最大の資源だったと言えるでしょう。学部教員数の削減がこれ以上進むと、果たして次の危機は乗り切れるのか心許ない限りです。

また、学務課や学生支援課等も含めた職員の奮闘にも頭が下がりますし、学生の多大な協力や努力なしには授業は成り立たなかったでしょう。学生・職員そして教員の三人四脚で、怒濤の春学期を倒れることなく走りきることができました。春学期の学生アンケートではオンライン授業を「良かった」25%、「やや良かった」29%という回答が得られており何とか及第点といったところでしょうか。

3. 「コア政治経済学」の実践例

ここからは、オンライン授業の一例として、私の講義科目である「コア政治経済学」を紹介します。この科目は学部共通の選択必修科目である「コア科目」の一環であり、履修者は200名を超えています。本誌427号で山下先生が紹介しているようにリアル配信等の同時双方向型にも大きなメリットがありますが、基礎的な知識の習得という点では巻き戻しや一時停止が可能で要点をじっくり学べる動画教材に教室での授業にはない利点があり、学生との双方向のやりとりはむしろ課題問題にじっくりと取り組ませながらが望ましいということから、Sulmsを利用したオンデマンド型の授業としました。

1回の授業は予習問題→ビデオ①→練習問題①→ビデオ②→練習問題②→課題問題という流れで構成され、課題問題に対しては、個別のコメントではなく学生の解答例をいくつか紹介しながら解説やコメントを加えた「フィードバック」を作成し、やはりSulms上で提供しています。

練習問題は適語補充や多肢選択問題で、Sulmsの小テスト機能を利用して「即時フィードバック」で直ちに正誤が確認でき、受験可能回数を「無制限」とする設定によって、学生に満点になるまで何度でも調べ直すことを求めました。課題問題は「作文問題」機能でじっくりと考え書かせる問題です。動画教材はVimeoという動画配信サイトに掲載しSulms上のリンクをクリックすることで視聴できる形式です。動画はパワーポイントの「スライドショーの記録」機能によって作成しましたが、カメラによる映像の挿入は要所にとどめ、講義の大半は音声のみを付したものです。学生は講義中の私の顔や動作に興味はないでしょうが、要点の箇条書きのみのスライドでは延々と同じ画面が続き、よほど話力が高くなければ学生が集中力を保つのが難しいかもしれません。予備校などで板書スタイルが好まれるのも、講師のリアルな書き込みなどのパフォー

マンスが緊張感を保つことに一因がありそうです。そこで、この授業では従来からスライドになるべく多くの図解やそのアニメーションを用いていたこともあり、動画ならではの“動く”教材となるよう心がけました。

こうした工夫を秋学期には他の科目(履修者約300名)とあわせ2科目の授業で展開した結果、教材準備や課題の評価に多大な時間をとられることになりましたが、パワーポイントで作成した動画はスライドごとに映像・音声ファイルが記録されているため、部分的な修正や組み換えが可能です。今後も補習や反転型の授業等に活用できることを楽しみに歯を食いしばり、何とか科目ごとに15回分の教材を作成しました。

さて、学期末の授業評価アンケートでは、「学習意欲を持って積極的に受講できた」学生が19年度の60%（「強くそう思う」と「そう思う」の合計：以下同じ）から20年度は78%へ、「授業はよく理解できた」学生が56%から71%に増加し、「授業には総合的に満足である」学生は75%から83%に増加しました。もちろん、実際にキャンパスで学生達がリアルな時間を共有することが十分にできなかったデメリットは計り知れないものがありますが、大教室での講義科目の教育効果ということに限れば、私たちのいささか付け焼き刃な試行錯誤は、結果的に例年に劣らぬ成果を挙げたと言えそうです。

10/5 第1回講義 Topic 2

- 第1回印刷用プリントのファイル
ダウンロードして印刷してください
- 講義ビデオ①「受講上の注意」
海外滞在中の学生は、講義ビデオの視聴ができるかどうか、SUCCESSからのメッセージへの返信で報告してください。
- (ビデオが見られない場合用スライドファイル) 「受講上の注意」
- 予習問題1: 「経済」とは何だろう?
「受講上の注意」を見終わったら、次にこの予習問題に回答しよう!
- 講義用ビデオ①「政治経済学とは何か?」
0.8倍速や1.2倍速などで視聴するには→講義用ビデオを好みのスピードで再生する方法(パソコン限定)
- (ビデオが見られない場合用スライドファイル) 「政治経済学とは何か?」
- 練習問題1-①
講義用ビデオ①「政治経済学とは何か?」を終えたら、この練習問題にチャレンジを!
「チェック」をクリックして正解かどうかを確認、満点になるまで頑張ろう!
- 講義用ビデオ②「経済とは何か?」
- (ビデオが見られない場合用スライドファイル) 「経済とは何か?」
- 練習問題1-②
講義用ビデオ②「経済とは何か?」を終えたら解いてみよう。
- 課題問題 (第1回)
初回なので10月19日の13時までは回答可能にしております。履修登録がされた人なども提出してください。

Sulms2020年度版「コア政治経済学」の一部

セーフティネットをめぐる多事争論 ヒント

コア政経6-2市場経済システムの光と影

講義用動画の一場面

